

世界HTLVデー
2023を
記念して
京都タワーを
ライトアップしました



クラウドファンディング
ご支援いただいた皆様に
心よりお礼申し上げます



街頭活動で
世界HTLVデーを
広く周知しました



世界HTLVデー
記念講演会
当事者の想いを伝えました

世界HTLVデー2023を記念して

京都で発見・診断されたHTLV-1。約50年前、ATLV発見の歴史はここ京都ではじまりました。そして当会のはじまりも京都。何かと縁深い京都で、今年第9回日本HTLV-1学会学術集会が開催されました。今年の世界HTLVデーは、京都から世界に「感染防止対策とともにウイルス撲滅の重要性」を発信すべく京都のシンボリック的存在である京都タワーをテーマカラーの1つである赤色にライトアップしました。



京都タワーのライトアップは クラウドファンディングで実現しました

今回、クラウドファンディングの結果は32万2千円であり、目標額の約65%に相当するご支援をいただきました。多くの皆様にご理解とご賛同をいただき、おかげさまでライトアップが実現できました。心より御礼申し上げます。

11月10日はボランティアスタッフとともに、京都駅八条口側街頭にて世界HTLVデー、学術集会、HTLV-1および関連疾患に係る啓蒙活動を行いました。当初終日大雨の予報でしたが、街頭活動を始めた途端、傘の出番もないほどの小雨となり、ライトアップが始まった頃にはすっかり雨も上がっていました。20時頃には漆黒の夜空に真っ赤な京都タワーが浮かび上がり、想像していた以上に美しく感無量でした。

京都タワー公式SNSでは、ライトアップに関わるアクセス数が2.7万件超！多くの方に閲覧していただけたようで「11月10日は世界HTLVデー」であることを知っていただくよい機会になったと思います。特に、国内外からの観光客が京都駅前で京都タワーを被写体に「綺麗」「Beautiful!」…と、仕切りにシャッターをきっている光景を目当たりにすると、ライトアップ・プロジェクトの成功を実感せずにはいられませんでした。ライトアップの実現に向けて、

キャリアは「一人でも多くの方にこのウイルスを知ってほしい」
 関連疾患患者は「一刻も早く根治できる治療法を見つけたい」
 家族・遺族は「ATLで大切な人を亡くす辛さに終止符を」
 支援者は「全ての人がHTLVへの理解と関心を」
 …と、それぞれの想いを胸に企画・運営に関わってきました。

特に、亡き家族やライトアップを待たずして急逝されたメンバーを偲びながら凜とたたずむ京都タワー眺めると、どこか癒しにも似た感覚が湧くと同時に、啓蒙活動を続けていく使命を改めて感じた次第です。

ライトアップはひと時ではありましたが、今後もHTLV撲滅に向け、一步一步精進したいと思います。引き続き、本会活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

この場をお借りして、ご支援いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。誠にありがとうございました。

世界HTLVデー2023×京都タワーライトアップ・プロジェクト

～HTLV撲滅を京都から世界へ！～

総数56名の皆様にご支援いただきました

主催：特定非営利活動法人 HTLV-1全国ねっと

共催：一般社団法人 日本HTLV-1学会

第9回 日本HTLV-1学会 学術集会

後援：一般社団法人 京都府医師会、厚生労働省



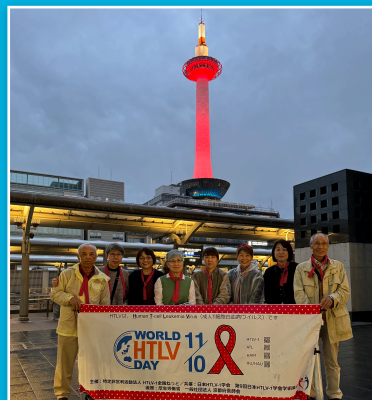
特定非営利活動法人
HTLV-1全国ねっと



街頭での啓蒙活動の様子



京都駅八条口側街頭にて世界HTLVデー、学術集会、HTLV-1・関連疾患に関する啓蒙活動を行いました。



街頭での啓蒙活動を終えて、京都駅烏丸口（京都タワー側）に移動すると、暮色蒼然のなか薄紅色に染まる京都タワーが目にとまりました。日暮と共に次第に朱色から真紅に染まっていく様は、何とも言えない美しさであり感慨深い光景でした。当事者の想いが世界中の皆様が届きますように…との願いを乗せて。